

東アジアの平和構築への提言 —ASEANと協力して

講演

志位和夫 中央委員会議長

日本共産党

インドネシア 訪問

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



ASEAN本部でエカパブ・ファン
タボン事務局次長と会談する志
位委員長(当時)=2023年12月
21日、ジャカルタ



インドネシア政府のアダム・トウギオ外相特別補佐官と会談する志位
和夫委員長(当時)=2023年12月20日、ジャカルタ



インドネシアのハッサン・ウィラユダ元外相と会談する志位委員長と
田村智子副委員長(いずれも当時)=2023年12月21日、ジャカルタ

東アジア サミット (EAS)

10+8力国

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



日本



中国



韓国



アメリカ



ロシア



オーストラリア



ニュージーランド



インド

ASEAN

(東南アジア諸国連合)

10力国



インドネシア



マレーシア



フィリピン



シンガポール



タイ



ブルネイ



ミャンマー



ベトナム

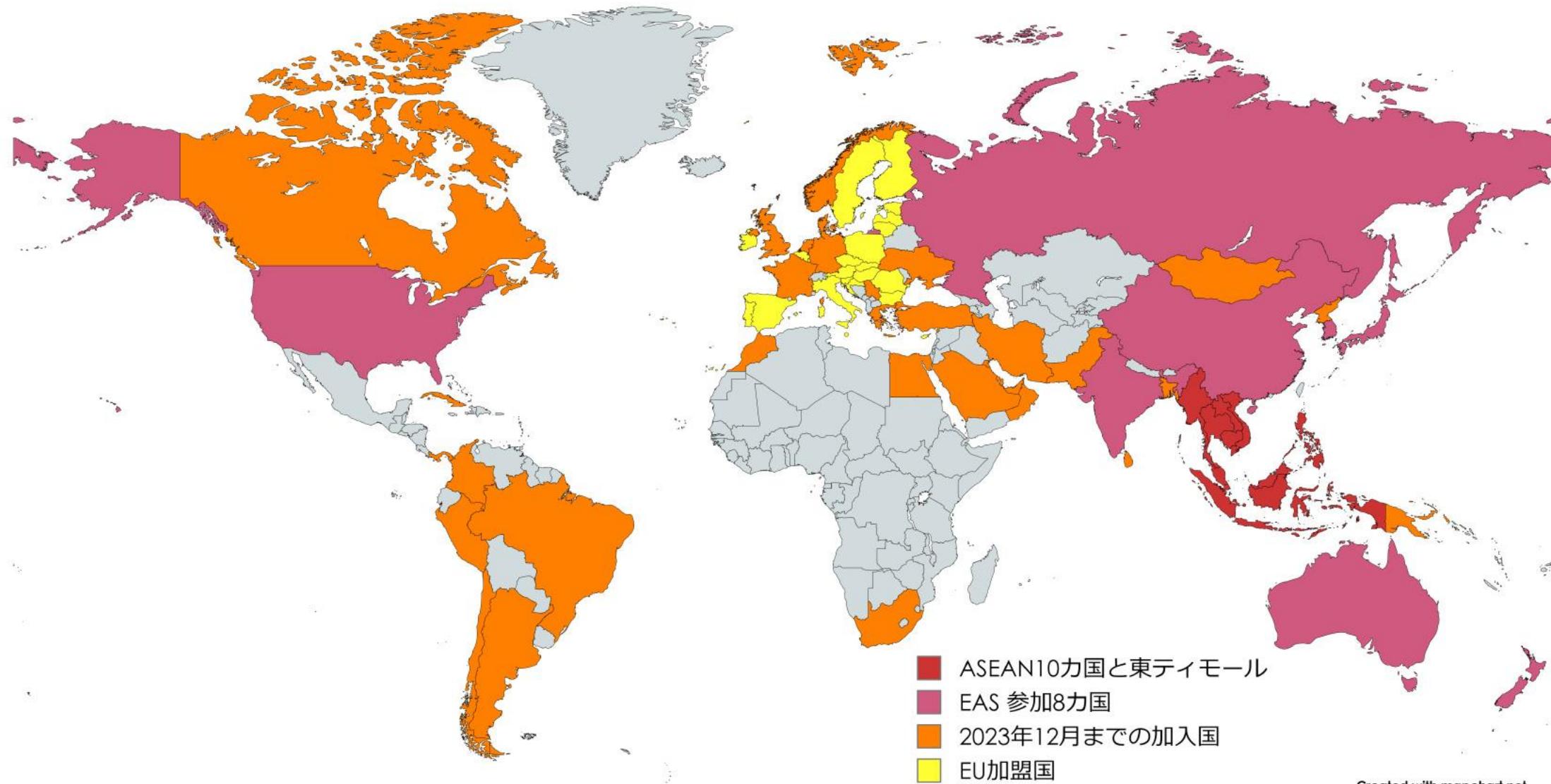


ラオス



カンボジア

東南アジア友好協力条約(TAC)の広がり



Created with mapchart.net

ASEAN インド太平洋 構想 (AOIP)

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫

対抗でなく対話と協力、
発展と繁栄のインド太平洋をつくる。

東アジアサミット(EAS)など
現行の枠組みを、対話と協力の
プラットフォームとして活用・強化する。

紛争の平和的解決を定めた東南アジア友好協力条約(TAC)を平和の指針とし、
東アジア全体で推進する。

海洋協力、人と物の交流、国連SDGs、
経済協力など、4分野で協力を進める。

日本共産党の 「外交ビジョン」

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫

いま日本がやるべきは、軍事的対応の強化ではなく、ASEAN諸国と手を携え、「ASEANインド太平洋構想(AOIP)」の実現を共通の目標にすえ、すでにつくられている東アジアサミットを活用・発展させて、東アジアを戦争の心配のない地域にしていくための憲法9条を生かした外交である

アジア政党 国際会議で (ICAPP)

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫

アジア政党国際会議 (ICAPP) 第11
回総会で発言する志位和夫委員長
(当時)=2022年11月18日、イスタンブール



欧洲左翼党 大会で

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



欧洲左翼党第7回大会で来賓として発言
する緒方靖夫副委員長=2022年12月
10日、ウィーン

ラオス・ ベトナム 訪問

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して
2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



ラオス人民革命党のトンルン・シリット書記長・国家主席と会談する
志位委員長(当時)=2023年12月
23日、ビエンチャン



ベトナム共産党のグエン・フー・チョン書記長と会談する志位委員長(当時)=2023年12月26日、ハノイ

国会での 代表質問

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



衆院本会議で代表質問に立ち、ASEANの中心性などについて質問する
志位和夫議長(右)と答弁に立つ岸田首相(左)=2024年2月1日

日中関係 での提言

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して
2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫

中国の呉江浩大使に日本共産党の提
言「日中両国関係の前向きの打開の
ために」を手渡し、懇談する志位委員
長(当時)=2023年5月4日、東京



岸田文雄首相と会談し、日本共産党の
提言「日中両国関係の前向きの打開
のために」の内容を申し入れる志位委
員長(当時)=2023年3月30日、東京



北朝鮮問題 での「要請」

東アジアの平和構築への提言
— ASEAN と協力して

2024年4月17日
日本共産党中央委員会議長
志位 和夫



北朝鮮の核・ミサイル問題の解決に向けた関係6カ国への要請「非核化と平和体制構築を一体的、段階的に」を安倍晋三首相(当時)に手渡し会談する志位委員長(当時)、小池晃書記局長=2018年4月9日、東京

非核化と平和体制構築を 一体的、段階的に

—関係6カ国への要請

日本共産党幹部会委員長・衆議院議員 志位 和夫

(1)

私は、北東アジアの平和に共同で責任を負うべき関係国が、今後、対話と交渉を進めることにあたって、次の二つの点を重視することを要請するものです。

南北首脳会談が4月27日に開催されることが決まり、続いて5月末までには米朝首脳会談が開催される動きとなっています。私は、北朝鮮の核

・ミサイル問題の「対話による平和的解決」をめざす動きを歓迎し、その成功を心から願うものです。

(2)

ア地域の平和体制の構築—南北、米朝、日朝の緊張緩和・関係改善・正常化を進めることが重要です。北東アジア地域の平和体制を構築するうえで、非核化が不可欠の前提であることはい

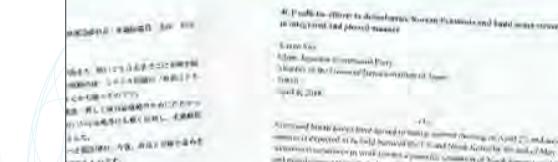
うまでもありません。同時に、非核化を進めるために、朝鮮戦争の終結をはじめ戦争と敵対に終止符を打ち、地域の平和体制を構築し、北

明は、今日なお重要な意義をもつものです。1992年の朝鮮半島の非核化に関する共同宣言、2000年の日朝平壤宣言、2000年と07年の南北共同宣言、2000年の米朝共同コミュニケなども、

今後の交渉の土台とすべき重

要な国際合意です。

拉致問題は国際的な人道問題であり、その早期解決は日本国民の強い願いです。この



指白い通とアシカの通詞の

(3)

第一に、その実行方法にあたっては、合意できる措置を話し合って、一つずつ段階的に実施して目標に近づいていくことが、現実的でないと考

